

60

Social Welfare Corporation

同仁

吾らの誓い
 一合掌木殺共生の心
 人は皆佛子
 佛種を内に包む
 万物は同根
 合掌し合い
 共に生とる

チキンソテー
 パーニャカウダソース



認定こども園

同仁東保育園

ゆうゆうクラブ

臨海学園

同仁会子どもホーム

同仁会乳児院

内原和敬寮

「触れて、感じて、広がる世界」

「成功よりも大切なこと」

「幼児さんの口癖」

「共に過ごす時間の中で」

「初めての出会い」

「挑戦する過程を大切に」

つくば香風寮

さくらの森乳児院

内原深敬寮

児童家庭支援センターだより

『らふいん』

理事会だより

「普通の大人に」

「ねんねの時間」

「季節を感じ心に余裕を」



触れて、 感じて、 広がる世界



～認定こども園 同仁東保育園～

「これなんだろう？」

一歳児の小さな手がそつと氷に触れた瞬間、ぱつと笑顔が広がりました。毎日の保育の中で、子どもたちが夢中になっている遊びの一つに「感触遊び」があります。手で触れたり、握ったり、こねたり。感触遊びは五感をフルに使って楽しむ子どもたちにとって、とても大切な体験です。氷の他にも高野豆腐、片栗粉、春雨やパン粉など、身近なものが不思議な遊び道具に大変身します。

最初はちよつぱりドキドキして指先でちよん、と触っていた子も、段々と夢中になって両手でにぎにぎしたり、ぐにゅーつと伸ばしたり「つるつるしてる!」「冷たい!」など、保育士とのやりとりも弾み、あちこちから笑顔と歓声が広がっていきます。素材に触れるたびに表情も動きもどんどん変わっていく子どもたち。感触遊びは子どもたちの五感を刺激し、手指の発達や「やつてみたい!」を育む大切な時間です。触れることで広がる世界は子どもたちの成長をぐつと豊かにしてくれます。

成功よりも大切なこと

～ゆうゆうクラブ・子育て支援～

ゆうゆうクラブでは、ほめて伸ばす保育「ペアレントトレーニング」を長年行ってきました。その一つとして、学校の長期休業の時にやっている『チャート』があります。

これは、今もできている簡単な目標二つ、少し頑張れば達成できそうな目標二つ、頑張つて達成してほしい目標一つを表にしたものです。目標が達成できた時に

は表に丸をつけ、できなかつた時には空欄にし、一週間で、あらかじめ設定していた目標数の丸が付いたら「ご褒美がもらえます。できなくてもバツは付けず空欄にする」というのもポイントで、できないことは×(だめ)ではない、否定しないという意味が込められています。

＜チャートのしくみ＞
○が13個付いたらどう? (例)

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
きょうのめいぶんい てもめい めいぶんめい ちゃんとやる													
①めいぶんめい ちゃんとやる													
きょうのめいぶんめい ちゃんとやる													
きょうのめいぶんめい ちゃんとやる													
きょうのめいぶんめい ちゃんとやる													
きょうのめいぶんめい ちゃんとやる													
きょうのめいぶんめい ちゃんとやる													
きょうのめいぶんめい ちゃんとやる													
きょうのめいぶんめい ちゃんとやる													
きょうのめいぶんめい ちゃんとやる													



は表に丸をつけ、できなかつた時には空欄にし、一週間で、あらかじめ設定していた目標数の丸が付いたら「ご褒美がもらえます。できなくてもバツは付けず空欄にする」というのもポイントで、できないことは×(だめ)ではない、否定しないという意味が込められています。

このチャートを給食の時間に活用しています。いつも出歩いてしまう子がいたり、お箸セットを忘れてしまう子がいったりで、丸が付かない日が続きました。それでも子どもたちは、誰も責めたり文句を言ったりすることなく「じゃあ明日、今日の分も丸が付くように頑張ろう!」と前向きでした。

そんな姿に私たち職員も嬉しくなつてしまふ「今日は挨拶が凄く上手だったから、花丸で丸二つ分にカウ



ントしよう!」とちよつとだけおまけをして、見事目標数の丸を達成し、念願のひとり二百円のおやつを買いに行ける事ができました。

一つの目標に向かい、みんなで協力することとても大切な経験です。しかし、できない子がいた時、責めたり怒ったりせず『次にどうするか』『どうしたらできるのか』を前向きに話し合い言葉をかけ合う子どもたちの姿に嬉しくなりました。また、すべての子どもが同じ場所でもに育ち合う「インクルーシブ保育」の姿を見ることができた気がしました。

幼児さんの口癖

～臨海学園～

私は臨海学園に就職して二年目になりましたが、慣れない料理や日々の業務内容に追われて余裕のない日々を過ごしていました。その中で幼児さんのある口癖から、子どもたちとの何気ない毎日を丁寧に過ごすことの大切さに気付くことができたお話をしたいと思います。

私が就職するのと同じ時期に入所した三歳の女の子がいます。入所したばかりのその子は、人見知りと言葉もあまり話さず、泣くことが多い子でした。臨海学園で過ごしていく中で職員にもたくさん甘えられるようになり、たくさんさんの言葉を覚え色々な話ができるようになりました。一緒に外出したり、行事に参加したりすることが増えると、その子は「○行つたよね。」「○○食べたよね。」が口癖になりました。その時は「そうだね。」と言いながら、その時の思い出と一緒に話しています。

ある日、他の子が習字をしていると「前、一緒にやったよね。」と、急にその子が話しかけてくれました。しかし、私は全く何のことか覚えていませんでした。その子に詳しく聞くと、一ヶ月ほど前に一緒に絵の具で塗り絵をした時のことだと分かりました。しかしその時、時間がなく業務的に色塗りをしってしまったことを思い出し、とても反省しました。何気ない日常の中での出来事の一つでも、子どもたちにとっては大切な思い出なのだと気付くことができました。



これからも子どもたちの大切な時間を一緒に過ごしていることを誇りに思い、反省を生かして日常の関わりを大切に過ごしたいと思います。

共に過ごす時間の中で

～同仁会子どもホーム～

高校三年生はそれぞれの進路に向けた夏を過ごし、職員は彼らの選択を見守りました。

例えば奨学金。進学を希望する人はもちろん、就職を目指す人へも多くの団体から案内があり、それぞれ手続きを進めます。作文や収支計画などの書類を自分で作るという、大人への第一歩を経験することになります。



他には家事。料理や掃除、洗濯などを自分で行うことは、楽しさと大変さが入り混じります。施設の暮らしの中で家事の楽しさが伝わり、良いなと思い、好みの柔軟剤を使ったり、休日に自分の食事を用意してもらったりしています。

自立支援のセミナーにも参加しています。初めて会う人や学ぶ内容に刺激を受け、少しずつ大人の階段を上っているようです。子どもと職員が同じ方向を向いて話す時間を彼らはどのように感じているでしょうか。数年後、温かな思い出になると信じて関わることが、私たちの役目なのかと感じます。残りわずかなった施設の暮らしの中で、彼らの子ども時代を振り返りながら、温かな時間を過ごしていきたいと思っています。

初めての出会い

～同仁会乳児院～

私は入職してから初めての担当児を任せられました。院長から「担当だからよろしくね。」と言われた時の嬉しさは、とても大きかったです。その反面、今まで経験したことのない業務を一人でこなさなくてはいけないことへの不安も大きかったです。

担当した子は、いつも笑顔がキラキラで追いかけてくれる大好きな女の子でした。甘えん坊で可愛らしいのですが、なかなか抱っこから降りられずに泣き続けてしまう一面も…。私が受け止めなければ、と張り切っていたものの、泣き続ける姿を見るうちに、次第にどう関わるべきか迷うようになってしまいました。それでも、担当としての責任を全うするために、ときに先輩方の力を借り、試行錯誤しながら関わりを続けてきました。「泣いてもいい。その子にとって一番安心できる人になつてあげて。」という言葉が掛けていただいた時は、泣き止ませようと必死になり、プレッシャーを感じていた自分の心がふと軽くなった気がしました。

担当児を持つたことで様々な業務が増えて大変なこともありましたが、先輩方の温かさや子どもの可愛さに励まされて、無事に出すことができました。これから先たくさんの子ともたちと出会うことになりましたが、どの子にも精いっぱい愛情が伝わるよう、日々関わりに努めたいと思います。

挑戦する過程を大切に

～内原和敬寮～

私は学生の頃、川で釣りをよく楽しみました。繰り返しルアーを投げる中で「今度こそ釣れるかもしれない」と思っても、結局釣れないという日も少なくありませんでした。しかし、自然の中で生き物と関わる時間は大切な思い出として心に残っています。

施設の子どもたちとも同じような経験ができれば良いなと思い、夏休みに一緒に釣りをする機会を作りました。残念ながら魚は一匹も釣れませんでした。印象的な出来事はたくさんありました。ポイントを探しながら歩いていると突然、魚が水面から飛び跳ね「今いたよね！」と大騒ぎをしました。ルアーを投げた際に、緩んだリールから持ち手も一緒に飛んでいったり、木の枝に引っ掛かってどうにか外そうとしたりと、上手いかないことも多くありました。しかし、同時に自然の中でしか味わえない経験ができたなとも感じました。

釣れないからつまらないではなく「さつきより遠くに飛ばせたよ！見てて！」あっちの方に行ったらもっとと魚いるかもしれないから行ってみようよ！」と試行錯誤をしながら楽しむ姿に、挑戦そのものを楽しんでいるなと感じました。帰り道では「絶対いたから次はたくさん釣ろうね。」釣れたら食べられるかな。」と楽しそうに話す姿を見て、失敗ではなく次に繋がる出来事になったのだと実感しました。日常の中では結果を求められることがよくありますが、挑戦する過程を大切にすること、それを一緒に味わうことのできた一日になりました。



普通の大人に

～つくば香風寮～

入職して七年目になりました。これまでの仕事の難しさを多くの場面を感じ、辞めたいと思ったこともありましたが、それでも『自分らしさ』を見つけて七年目を迎えています。

これまでの六年間で、今の『自分らしさ』を見つけてきつかけになった子がいます。その子との関わりでは、私の思いのみで行動し本人の気持ちに寄り添えず失敗したことや、なかなか受け入れてもらえない時期が続いたことがありました。また、そうした状況を一人でどうにかしようとしたことも相まって、自分をどんどん追い詰めていってしまう悪循環に陥ったこともありましたが、この子との関わりを今の『自分らしさ』を見つけてきつかけにすることが出来たのは、私の頑張りの成果だけではなく、つくば香風寮の仲間たちが支えてくれていたからだだと強く感じています。特に同期との縁はこれからも大切にしていきたいです。

好かれることが当たり前ではない。たとえお節介だと思われても、自分から関わっていく。衝突して嫌われても、冗談を言い合えるような「嫌いな大人」から「普通の大人」になるまで関わり続けられる。こうした関わりができる素敵なつくば香風寮で、これからも子どもたちの可愛さに触れながら、みんなで成長していきたいと思っています。

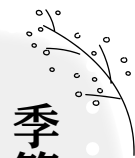
わんわの時間

～さくら森乳児院～

一日の終わりに、子どもたち一人ひとりとおやすみのスキンシップをとる時間があります。

さくらの森乳児院では、幼児グループの1歳半から3歳の子どもたち十人が一つの部屋で眠っています。全員で寝室に移動すると怪我をする可能性があるので、一人ずつ自分の布団に行けるよう始めたことがきっかけです。扉のところでは一人ずつ「おやすみ。」と挨拶しながらタッチをしたり、抱っこをしたりしています。「おやすみ。」と言ってくれる子、笑顔で抱きしめ返してくれる子など、子どもによつて反応は様々です。

ある日の夜、職員が他の子とスキンシップをとっていると、大きい子が小さい子を抱きしめながら笑い合っている様子が見られました。その様子が微笑ましく、とても温かい気持ちになりました。毎日の忙しい時間の中で、寝る前のゆったりとした時間は私にとっても、子どもたちにとっても大切な時間になっているのだと思います。また、子ども同士の間で、安心や思いやりが広がっていることが嬉しくなる素敵な時間になりました。



季節を感じ 心に余裕を

～内原深敬寮～

日本は、春夏秋冬で四つの季節という認識が一般的ですが、実は五季あるのです。それぞれの季節の間に土用という期間があり、次の季節への準備期間となります。春と秋は気温が同じでも色合いが違い、風の香りも違います。土用があるからこそ季節の移ろいを感じられる。素敵ですね。

現代は男女関係なく仕事に就き、特に子育て真っ只中だと時間に追われ四季を味わうこともなく、あっという間に一年が過ぎるのではないのでしょうか。子育てを終えた私としては、そんな皆様に一瞬でもホッとしていただけたらと、気が向いた時ではありますが、季節の身近な草花を添えられたらと思っています。季節の移ろいを感じると、不満も言わずただ咲いている花に癒され、自分の愚かさを反省したくなります。

また、正門にある桜の開花に出会うことを楽しみに蕾のふくらみ具合を観察しています。そんな何気ない喜びを子どもたちにも伝え、少しでも喜んでもらえたら、それも役割の一つかなと感じられるこの頃です。



プチ・パチ エピソード

低学年のおでかけでシビックセンターとハレニコ（室内型子どもの遊び場）に行きました。子どもたちと行き先の確認をすると「チビッコセンター！」…吹き出してしまいました。

さて、遊んだ後はアイスクリーム専門店へ。チョコミントを見たM君が「歯磨き粉の味がするから嫌。」…あれっ。歯磨きの時、美味いって舐めてなかったっけ。

どこに行っても笑いの絶えない楽しい一日でした。
(同仁会子どもホーム)

自由参加行事として、ディズニー映画の上映会を行いました。小学4年生のAくんは「ディズニーなんて子どもが見るものだから、俺は見ない。」と素っ気なくしていましたが、行事が始まると、そこにはAくんの姿が。始めは集中して見ていましたが、飽きてしまい途中で退室していきました。子どもらしさ満点のAくんなのでした。

(内原深敬寮)

おまごとをしていたある日のこと。「あーんしてね」と言いながら、張り切ってみんなにドーナツを振る舞っていたしっかり者のRちゃん。「あーちゃん（同仁会乳児院での職員の呼び方）にもくださーい」と職員が口を開けて待っていると…「おくちおおきい！みんなのぜんぶたべちゃうでしょ！」と一言。職員のあーんのお口が大きすぎて、ドーナツが全部食べられちゃうと思ったのかな。そう言われてしまった職員もちょっぴり恥ずかしそう。それでも最後には「なかよくたべるんだよ」とあーちゃんにも分けっこしてくれるRちゃんでした。
(同仁会乳児院)



チキンソテー バーニャカウダソース



【材料】2人分

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ・鶏もも肉 …… 2 枚 (160g) | (アンチョビソース) |
| ・塩こしょう …… 0.4g | アンチョビペースト… 3.6g |
| ・サラダ油 …… 4g | おろしにんにく… 2g |
| | オリーブオイル… 8g |
| | 生クリーム… 14g |

【作り方】

- ①鶏肉に塩こしょうで下味をつける。
- ②フライパンにサラダ油をひき、中火で皮目から焼く。
- ③焼き色がついたら裏返し、中まで火が通るよう焼く。
- ④ソースの材料をミキサーにかけ混ぜておく。
- ⑤皮目を上にして④と焼き油をなじませながら仕上げる。

[ソースが余ったら…]

魚のムニエルソースとして。
スティック野菜やボイル野菜のディップソースとして。ポテトサラダの味変として。
ポテトフライにかけてもよし。
ソースは他の料理に代用できますので是非お試しください。

相談室の窓から

二つの花言葉

みなさんは花言葉にご興味はありますか。同仁会児童家庭支援センターでは現在、職員間で話題のお花があります。それはストックとデイジーです。

ストックというお花は、ふわふわとした花びらを空に向かってたくさん咲かせます。花びらの色は、淡いピンクや目を引く赤に見惚れる真っ白など、実に多色です。そして花言葉は『思いやり』や『見つめる未来』などです。もう一つの話題のデイジーは、その由来が『太陽の目(デイズアイ)』とも言われています。その由来通り、太陽の下でおひさまのような丸い小さな花をたくさんつけます。デイジーで有名なのは、白くて真ん中が黄色いお花でしょうか。そして、デイジーの花言葉は『希望』や『未来』などがあります。

さて、なぜこの二つのお花が最近の話題なのかと言うと、私たちの取り組みの一つである、子育て家庭を対象にした食品等の支援『すとか』に赤ちゃん専用便が加わったためです。その名も『でいじー』です。

花言葉に職員一同の思いを託しました。お子さんやご家族が笑顔になれるお手伝いができればと思っています。この二つのお花のように、たくさん笑顔が咲く未来になりますように。

児童家庭支援センターだより

らふ
Laughing
ん
～子ども家族の笑顔のために～



同仁会児童家庭支援センター（高萩地区）令和7年度 相談受付状況

	養 護		保健	障害	非 行		育 成				その他	合計
	虐待	その他			ぐ犯等	触法行為	性格行動	不登校	適正	育児・しつけ		
延べ件数	252	316	111	75	0	0	91	12	2	1	5	865

児童家庭支援センターあいびー（内原地区）

	養 護		保健	障害	非 行		育 成				その他	合計
	虐待	その他			ぐ犯等	触法行為	性格行動	不登校	適正	育児・しつけ		
延べ件数	359	170	0	38	27	0	222	42	0	7	1	866

※令和7年8月末現在

心理療教室にて

みえないけどみえるもの

私たち心理士は、心理支援と言われる心の問題を解消することを専門としています。私は地域の子どもに關する相談を受ける機関でセラピストとしており、大人から子どもまで幅広い年代の方の相談を受けています。何にどのくらい困っているかどうしたいのか、大人ならスムーズに話せるかもしれませんが、子どもはそうはいきません。「困っていることは？」と聞いても「ない。」と返ってくることもあれば、そんな時に大事なものは、言葉にこたわらないことです。

初めての場所で初めて会う人と話すことは、大人でも緊張します。「困っていることを話して。」と言われても何て言ったらいいかわかりません。そんな時は絵に描いてもらったり数字で教えてもらったりしています。例えば、特定の場所に行くとき辛くなるということだったら、人の絵を描いて、その場所に行つた時に体のどの辺りが辛くなるのか、辛い気持ちは何色でどんな形・大きさをしているのか、十のうち何点くらいの強さなのか、ゼロ点の時があるのかないのか、など。

心で感じていること、考えていることは目に見えませんが、言葉で表すのも難しいことがあります。でも子どもたちは既にいろいろな方法で表現しています。そこに行くとき辛くなる、というのも表現の一つです。子どもたちが表してくれたサインを拾い、少しでも困りが減っていくように、見えないけど見えるものについて日々考えています。

児童家庭支援センターあいびー

心理療法担当職員

里親支援

臨海学園では、子どもと里親さんを繋ぐ里親マッチングのサポートを行っています。

どの里親さんも初めは緊張しながらも、子どもとの出会いにワクワクしている様子を見せてくれます。また、里親さんと初めて出会った子どもたちは素直に喜んで、緊張して泣いてしまったり、警戒して拒否するような態度をとったりと、様々な行動を見せます。それでも子どもたちは初めて出会った日から、里親さんは自分にとって特別な人だと感じとりまします。子どもたちは里親さんが自分を大切にしてくれる人なのかを見極めていくかのように、里親さんを試すような行動をたくさんとります。

そのような関わりを一つ一つ受け止めてくれた里親さんと、関係を築いていきます。

子どもが安心して里親さんとの生活に移行していきけるように、お互いのペースに合わせて交流を進めていきます。子どもがその子らしく里親家庭で生活できるように、マッチング後にはたくさん話し合いをしています。マッチングを経て、里親委託になった後も定期的に電話や家庭訪問をしながら、子どもの成長を里親さんと一緒に見守らせていただいています。

これからも、子どもがその子らしく生活ができるように、サポートをさせていただきます。

臨海学園 里親支援専門相談員

理事会だより

◎第二六九回理事会

日時 令和七年八月二十九日(金)

午後二時から

会場 同仁会子どもセンター 応接室

【審議事項】

第一号議案

つくば香風寮分園型小規模グループケア施設新築工事に係る工事請負契約の締結について

審議の結果、原案どおり承認されました。

◎第二七〇回理事会

日時 令和七年十一月十一日(火)

午後二時から

会場 同仁会子どもセンター 応接室

【報告事項】

第一号報告

【理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について】

理事長職務執行状況として、上半期の予算執行状況並びに令和七年度法人経営・施設運営計画に係る中間報告を、専決事項として、旅費規程の一部改正について報告しました。

【審議事項】

第一号議案

【令和七年度第一回補正予算(案)について】

審議の結果、原案どおり承認されました。

第二号議案

【諸規則等の一部改正について】

就業規則 給与規則の一部改正について審議の結果、原案どおり承認されました。

第三号議案

【同仁東保育園における病児保育事業の開設について】

審議の結果、原案どおり承認されました。

第四号議案

【評議員会の開催日時及び審議事項について】

審議の結果、原案どおり承認されました。

評議員会審議状況報告

◎第七六回評議員会

日時 令和七年十一月二十八日(金)

午後二時から

会場 同仁会子どもセンター ホール

【審議事項及び結果】

第一号議案

【令和七年度第一回補正予算(案)について】

審議の結果、原案どおり承認されました。

第二号議案

【同仁東保育園における病児保育事業の開設について】

審議の結果、原案どおり承認されました。

1 各月初日在籍児童数

臨海学園 (児童養護施設: 定員 30 名)

	4	5	6	7	8	9	10
初日在籍	30	30	28	28	28	28	27
入所							
退所			2			1	1
月末在籍	30	28	28	28	28	27	26

同仁会子どもホーム(児童養護施設: 定員 25 名)

	4	5	6	7	8	9	10
初日在籍	24	24	25	25	25	25	25
入所		1					
退所				1			1
月末在籍	24	25	25	25	25	25	24

内原和敬寮 (児童養護施設: 定員 40 名)

	4	5	6	7	8	9	10
初日在籍	29	28	28	28	28	29	27
入所						1	2
退所	1					2	
月末在籍	28	28	28	28	28	27	29

つくば香風寮 (児童養護施設): 定員 30 名

	4	5	6	7	8	9	10
初日在籍	29	30	30	30	30	30	30
入所	1						
退所							
月末在籍	30	30	30	30	30	30	30

内原深敬寮 (児童心理治療施設: 定員 30 名、通所 10 名)

	4	5	6	7	8	9	10
初日在籍	29	30	30	29	28	28	28
入所	1	1	1	1	1		
退所		1	2	2	1		
月末在籍	30	30	29	28	28	28	28

さくらの森乳児院 (乳児院)

	4	5	6	7	8	9	10
初日在籍	14	15	17	18	18	18	16
入所	1	2	1		1		2
退所					1	2	
月末在籍	15	17	18	18	18	16	18

同仁東保育園 (保育所型認定こども園)

	4	5	6	7	8	9	10
0 歳 児	1	1	4	5	6	6	7
1・2 歳 児	41	40	40	40	39	39	39
3 歳 児	23	23	23	23	23	23	23
4・5 歳 児	51	52	52	52	52	52	52
計	116	116	119	120	120	120	121

保育 2 号・3 号認定こども

	4	5	6	7	8	9	10
満 3 歳 児	0	0	0	0	2	2	2
3 歳 児	5	5	4	4	4	4	4
4 歳 児	6	6	5	5	5	5	5
5 歳 児	6	5	6	6	6	6	6
計	15	16	16	17	17	17	18

教育 1 号認定こども

	4	5	6	7	8	9	10
満 3 歳 児	0	0	0	0	2	2	2
3 歳 児	5	5	4	4	4	4	4
4 歳 児	6	6	5	5	5	5	5
5 歳 児	6	5	6	6	6	6	6
計	15	16	16	17	17	17	18

ゆうゆうクラブ (放課後児童健全育成事業)

	4	5	6	7	8	9	10
小学 1 年生	5	6	6	7	7	6	6
小学 2 年生	8	7	6	5	6	5	5
小学 3 年生	11	12	12	11	10	9	9
小学 4 年生	8	8	7	6	6	6	6
小学 5 年生	6	6	6	6	6	6	6
小学 6 年生	4	4	4	4	4	4	4
計	42	43	41	39	39	36	36



2 地域子育て支援センター事業の状況

①子育て支援相談

	4	5	6	7	8	9	10
育 事	3	6	8	3	0	2	3
し っ	1	0	1	0	0	1	0
健 康	2	1	3	0	0	0	1
食 事	0	3	0	0	0	3	2
発 達	2	3	2	1	0	2	1
そ の 他	4	5	6	6	3	9	11
計	12	18	20	10	3	17	18

②子育て支援事業

	4	5	6	7	8	9	10
開 催 月	4	5	6	7	8	9	10
参加者(組)	16	19	20	21	27	25	
(人数)	32	38	41	44	57	50	

エ MaFT

	4	5	6	7	8	9	10
開 催 月	4	5	6	7	8	9	10
参加者(組)	1		3		4		
(人数)	2		6		8		

イ ちびっ子広場

	4	5	6	7	8	9	10
開 催 月	4	5	6	7	8	9	10
参加者(組)	16	6	6	16	7	4	13
(人数)	34	13	13	35	20	8	26

ウ ゆうゆう KiFT

	4	5	6	7	8	9	10
開 催 月	4	5	6	6			
参加者(組)	6	6	6	6	3	7	
(人数)	12	12	12	12	6	13	

3 児童家庭支援センター相談の状況

同仁会児童家庭支援センター(高萩)

①相談件数(種別)

区 分	4	5	6	7	8	9	
養 護	34	35	37	40	43	54	
保 健	24	28	15	22	17	24	
虐 待	18	10	19	20	23	23	
育 成	14	25	45	11	10	17	
非 行	0	0	0	0	0	0	
障 が い	11	3	22	9	5	13	
そ の 他	0	1	1	0	3	0	
合 計	101	102	139	102	101	131	

②相談方法

区 分	4	5	6	7	8	9	
電 話	21	22	38	41	34	41	
来 所	13	11	21	15	7	8	
訪 問	42	37	54	23	36	55	
メ ー ル	5	2	10	2	5	2	
そ の 他	0	0	0	0	0	0	
心 理 療 法	20	30	16	21	19	25	
合 計	101	102	139	102	101	131	

③緊急電話相談件数(茨城県受託事業)

相談種別	4	5	6	7	8	9	
養 護	23	37	56	52	62	54	
保 健	3	3	0	4	3	7	
虐 待	61	99	99	62	70	105	
育 成	33	42	34	27	28	25	
非 行	5	4	4	10	2	5	
障 が い	3	6	4	6	1	4	
そ の 他	101	128	136	196	175	96	
合 計	229	319	333	357	341	296	
連絡・間違い等	362	397	511	421	459	368	
緊急対応(再期)	39	77	55	65	55	5	

児童家庭支援センター(水戸)

①相談方法

区 分	4	5	6	7	8	9	
電 話	61	56	43	68	66	77	
来 所	6	11	12	13	13	20	
訪 問	19	23	17	62	56	33	
心 理 療 法	11	4	9	11	6	13	
メール・手紙・FAX	0	3	0	2	0	0	
合 計	97	97	81	156	141	143	

②フォスターリング相談等実績

(リクルート事業)	4	5	6	7	8	9	
相談/電話・メール	3	11	6	18	24	6	
外部向け制度説明	3	3	2	1	6	4	
ガイダンス	10	4	7	1	2	17	
(訪問支援事業)	4	5	6	7	8	9	
相談/電話・メール	48	53	62	62	27	20	
家庭訪問	26	38	25	17	31	23	
実家庭交流	1	1	0	1	0	1	
レスパイト調整	5	3	0	8	7	0	
里親交流	0	8	9	47	0	2	

③アフターケア相談件数

区 分	4	5	6	7	8	9	
生活相談(退所前)	7	25	9	19	10	14	
生活相談(退所後)	122	139	93	99	94	139	
就労相談(退所前)	3	13	5	7	27	3	
就労相談(退所後)	7	23	12	4	4	3	
合 計	139	200	119	129	135	159	

4 児童発達支援及び放課後等デイサービス利用の状況

月毎の延利用人数の推移

区 分	4	5	6	7	8	9	10
児童発達支援	90	84	97	83	75	92	81
放課後等デイサービス	110	99	102	99	77	101	88
保育所等訪問支援	8	14	14	15	9	18	17
合 計	208	197	213	197	161	211	186

5 発達障害者支援センター支援の状況

支援実人数(R7.4～R7.9)

区 分	相談支援	心理学的判定	就労支援
男 性	196人	0人	9人
女 性	97人	0人	14人
不 明	16人	0人	
計	353人	0人	23人

こどもギャラリ〜つくば香風寮〜



編集後記

「一石二鳥だね。」と、当時の園長先生に人社面接で言われ、一週間後に「四月から来てね。」と電話で伝えられたことを今でも覚えています。あれから十六年。調理の仕事もでき、子どもたちと関われる仕事もでき、本当に一石二鳥だなと感じます。こういう環境に感謝しつつ、これからも周りの方たちと歩んでいきたいです。

(越)

先日、お誕生日の女の子と一緒にケーキを手づくりしました。バナナを飾りつけたり、生クリームを塗ったり、楽しく作っていました。途中で生クリームの美味しさに気が付いてしまい、スプーンに生クリームがつくたびに「舐めてもいい？」と聞き、つまみ食い一所懸命な姿がかわいらしかったです。

(後)

入職したところから運動を続けています。もともと体を動かすのが好きなことでもあります。健康のために続けています。そのおかげか入職してから四年間病気で休んだことがありません。いつまでもこの記録を伸ばせるか分かりませんが、将来のためにも運動は続けていきたいなと思います。

(阿)

【発行】

令和 8 年 1 月
高萩市肥前町 1 丁目 80 番地
社会福祉法人 同仁会
<https://doujinkai.or.jp>
発行数 1,200 部

【編集】

社会福祉法人 同仁会
情報公開委員会

【印刷】

佐藤印刷株式会社